

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」



4学年 国語科

授業 表現力を高め、互いの良さや工夫を共有するKeynote活用

めあて：中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう

【Keynoteの同時編集機能で“他者参照“】

同じワークシートが出席番号順に並んでいて、自分に割り当てられたスライドで文章作成する。同時に編集しているので、いつでも参照できる。これにより、書き方に戸惑う子がつまずいたままにならず、また、早く作成が終わった子がよりよく仕上げるために見合うことも可能になる。



担任の先生のコメント

家族に伝える「伝統工芸ブック」作りがゴール。伝統工芸品の良さや特徴などが分かるようにすること、自分の考えとそれを伝える理由などが伝わるように書くには何度も書き換えたり、参照することが必要でプレゼンテーションアプリはとても有効。Keynoteは縦書きにも対応しており、機能も豊富であることから、表現力を高める場面で活用したい。

《授業の流れ》

1 全体説明

調べた情報を整理して、「伝統工芸ブック」づくりをする。学習の見通しと確認。



2 情報の整理

前時までに集めた情報から、文を組み立てる。教科書の叙述から足りない情報を補い、思考を整理。



3 表現

整理したアプリ画面と、Keynoteの画面を2画面表示にしながら、スライドに文章を入力。



4 振り返り

振り返りもクラウドに保存、提出。教師の見取りと、自分の学びの調整につながる

